

本時のねらい

立場の違いによって様々な感じ方があることを知り、よりよい言い方をした時の気持ちについて考える。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイロノート内の提出箱に撮影した動画を提出する。その動画を確認しながら、考えやわかったことをかけるようにする。
- ・動画の気になるところを巻き戻したり、何度も見たりすることで自分の考えを書く時のヒントにできるようにする。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・学習支援ソフト（ロイロノート）
- ・大型モニター

本時の展開（2 時間）

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5 分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の振り返り ○本時の課題をつかむ 「より良い言い方した時の気持ちについて考えよう」。 ・トラブルの起こった場面を設定する。 	
展開 1 (40 分)	<ul style="list-style-type: none"> ○なぜトラブルになってしまったか考える。 ○トラブルになったことの原因を考える。 ・シンキングツール（ベン図）とヒントカードで考えるための参考にする。 ○グループでよりよい言い方を考える。 ○役割を決め、グループで考えたやり取りを実際に演じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出箱で考えを共有し、考えている最中もほかの児童の回答を参考にできるようにする。 ・ヒントカードを端末に送り、必要な児童はみられるようにする。 ・端末で各児童が提出したベン図などを見ながら話し合う。 ・演じている様子を端末で撮影し、提出箱に動画を提出・共有することで、やり取りの様子を何度でも見られるようにする。
展開 2 (35 分)	<ul style="list-style-type: none"> ○動画を見て、思ったことや考えたことをワークシートに記入する。 ○思ったことやわかったことを話し合い、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻き戻し等を利用することで、自分の見たい部分を切り取って再生しながら考えることができる。
まとめ (10 分)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の振り返りをする。 ・よりよい言い方をしたときの気持ちを考え発表する。 	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1 : トラブルになったことの原因を考える場面



写真 2 : グループで交流し、よりよい言い方を考える場面



写真 3 : 役割を決め、グループで考えたやり取りを実際に演じる

児童生徒の反応や変容

- ・前時では自分の考えを書くことが難しい児童がいたが、本時ではヒントカードを使うことで自分の考えを書くことができていた。また個人の考えを提出箱に提出し、回答共有をしたことで考えの共有がしやすくなり、グループでの話し合いがスムーズに進んでいた。
- ・展開の中でよい言い方を一人で考えさせたとき、相手への優しい言葉がけを考えさせることが難しいと感じている児童が多いため、ヒントカードを見たり、みんなで考えたりすることで相手の立場に立った言葉がけを考えることができていた。
- ・振り返りでは、本時のねらいであるよりよい言い方をしたときの気持ちについて、自分の考えを書いている児童が多かった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

シンキングツールとヒントカードを使うことによって、考えるときの視点がわかりやすくなり、自分の考えを書くための手立てとすることができた。自分たちが演じる様子を動画で撮影することで、何度も見返して考えることができ、1 回ではなかなか気づけない児童にとっての支援にもつながり、個に応じた指導につなげることができた。